

一部製造業は好調を維持、全体的には依然低迷が続く

4月の業界WEATHER

全業種平均



前年同月比

概況

富士重工関連を中心とした自動車製造業など一部の業種では好調を維持しているものの、全体的な景況感は厳しさが感じられる。天候不順や連休前の買い控え等もあり、消費に対して消極的な様子である。

製造業	食料品		パンは前年の消費増税の落ち込みと比べ安定して推移している。菓子は原材料高騰だが販売価格は据え置いている。製麺は節約志向の継続により、生・乾麺とも厳しい状況が続いている。酒造は一部銘柄は好調だが、売上高は前年に届かず。
	繊維・同製品		婦人服地は秋物に期待している。輸出向けは引き続き多少引き合いが活発化している。伊勢崎織物は販売促進に努めているが、小口商いが多く売上は低調である。繊維製品はゴールデンウィーク商戦にもかかわらず、商品の動きが鈍い。
	窯業・土石製品		生コンは県央地域で大型物件がなく出荷量が減少している。コンクリートブロックは雪害復興需要があった前年と比べ大幅に売上は減少している。コンクリート製品は継続して厳しい状況が続いている。碎石は販売価格上昇により、西毛・渋川地域では売上が増加、その他地域では減少し、地域格差が見られる。
	機械・金属		自動車関連は富士重工関連が引き続き好調である一方、一部メーカーの生産調整などの影響があり、厳しさが感じられる。また、大手企業によるコストダウン要請があり対応に苦慮している。プラスチック金型は自動車関連の好調が続き、他業種の受注が減少するも前年並みに推移している。
	その他の製造業		製材は製品単価下落の上、荷動きが鈍化している。印刷は選挙関連によりやや受注増であったが、例年並みに推移している。ゴム製品は発注先に対し、価格改定を申し出る動きが見られる。紙加工品は食品・自動車関連が好調であるが、全体的には低調で厳しい状況が続いている。
非製造業	卸売業		食品関係を中心に卸売価格の上昇が続く中、消費者の買い控えによる収益悪化を懸念している。機械器具については設備投資がやや増加傾向のため、売上が増加している。農産物卸は春野菜の生育不良により出荷量が減り、野菜相場が高騰している。水産物卸も天候不順の影響を受け、売上が減少している。
	小売業		家電小売は販売低迷が続く中、リフォーム分野への進出が散見される。中古車オークションは低調に推移している。ガソリン小売りは販売価格が前年比22円/ℓ下落している。商店街は菜種梅雨の影響や連休前の買い控えで人出が少なく、今後のプレミアム商品券の効果に期待している。
	サービス業		温泉旅館は草津では火山活動による入込客減少も、大型宿泊施設を中心に売上が増加している。不動産取引は全体的に消費増税の影響で低調のままである。交通等の利便性の高まりのある高崎市域と比べ、館林市域では取引が減少している。建物設計は例年並みに推移している。
	建設業		公共工事は3年連続の設計労務単価引き上げ等により今後の売上増加に期待している。電気工事はLED関連工事により多忙である。塗装工事は大型物件が少なく、例年より減少傾向である。鉄構業は適正単価に改善されてきている。
	運輸業		連休前は長距離輸送で若干の車両不足であったが、全体的には例年よりも稼働率は悪化している。天候不順により野菜の出荷にばらつきがあり、自動車関係はトヨタ、富士重工が好調である。燃料価格下落で運賃引き下げ要請の動きもある。小口輸送は4月より運賃改定する中、売上高・件数ともに減少している。

※本調査は、情報連絡員56人が所属する組合の全体的な景況（前年同月比）です。

県内の主な経済指標

- 鉱工業生産指数(季節調整値) 106.5(前月比▲7.3%)「県統計課・3月」
- 販売電力量 129,536万KWh(前年同月比▲5.3%)「東電群馬支店・3月」
- 住宅着工戸数 807戸(前年同月比▲32.1%)「県建築住宅課・3月」

- 求人倍率(季節調整値) 新規1.60倍・有効1.18倍「群馬労働局・3月」
 - 大型小売店販売額 224億円(前年同月比▲13.5%)「経済産業省・3月」
 - 消費者物価指数(全国) 103.3(前年同月比+2.3%)「総務省統計局・3月」
- ＜鉱工業生産指数は17年=100とした指数・消費者物価指数は22年=100とした指数＞